

事業番号	09 04 01	事業改善シート(2年度実施事業分)	□当初要求	□当初予算案	■補正予算案	□点検
事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	
		実施期間	H17 ~	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	労働生産性					
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成		2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進			

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	・長野県の園芸作物(果樹、野菜、花き、きのこ)は、県農業農村総合生産の約70%、(2,097億円/県全体2,983億円 平成30年県推計)を占める主要部門であり、レタス、りんご、カーネーション、えのきたけなど全国シェア上位品目をはじめ、質の高い多様な品目・品種がバランスよく生産されている。				2年度補正後額	585,809 千円					
					職員数	3.10 人					
目指す姿	<p>・マーケットインの生産を基本に、県内で育成されたオリジナル品種や本県の立地条件を活かした販売力の高い品目・品種の導入、拡大等を進めることにより、競争力の高い園芸産地を実現する。</p> <p>(主な実施内容:農業機械の導入、農業関連施設の整備、研修会の開催など)</p>										
事業コスト	区分(単位:千円)	元年度	2年度	2補正後	指標及びその達成状況						
	前年度繰越	991,370			No	成果指標	30年度末	元年度末(見込)	2年度		
	当初予算	1,188,832	1,053,504	1,053,504					目標値	成果	達成状況
	補正予算			-467,695	①	生産振興を目的とした研修会開催回数	20回	40回	40回		
	合計(A)	2,180,202	1,053,504	585,809	②	果樹戦略品目等(※)の栽培面積	2,191ha	2,358ha	2,501ha		
	一般財源	65,838	58,832	58,832	③	りんごの高密植・新しい化栽培面積	307ha	407ha	558ha		
	県債					夏秋期のレタス、はくさい、キャベツの全指定産地出荷量に占める契約割合	48.9%	37.9%	38.8%		
	国庫支出金	1,544,881	693,422	218,560	※果樹戦略品種等:「シナノリップ」「シナノドルチェ」「シナノスイート」「秋映」「シナノゴールド」「ナガノパープル」「シャインマスカット」「クイーンルージュ®」「シナノパール」「サザンスイート」						
	その他	569,483	301,250	308,417							
	決算額(B)										
概算人員費	職員数(人)	3.10	3.10	3.10							
	概算人員費(C)	25,116	25,116	25,116							
	概算事業費(B(A)+C)	2,205,318	1,078,620	610,925							
成果指標設定理由	①関係団体、試験研究機関と連携する取組等から設定 ②～④実需者からの要望や苗木の生産計画、生産者団体等の出荷計画に基づき設定										

補正により取り組む事業内容	園芸産地強化対策整備事業の事業取り下げによる減額と事業採択団体の変更による財源更正
---------------	---

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	細事業名	2年度 実施内容(予定)	職員数(人)	令和2年度		
				(補正前)	(2月補正)	(補正後)
1	信州農業生産力強化対策事業	革新的農業技術の現地への普及や、マーケットニーズに対応した産地の育成等に必要な機械・施設の導入等を支援	0.50	55,593	0	55,593
2	皆で取り組む園芸振興事業	高収量・省力化・安定生産を推進するための研修会及び県オリジナル品種等生産拡大に向けた検討会の開催等を支援(研修会、検討会の開催 40回、モデルほ場等設置 51か所)	0.30	3,355	0	3,355
3	園芸産地強化対策整備事業	野菜集出荷貯蔵施設等の産地基幹施設の整備や、農業機械等のリース導入、パイプハウス等の生産資材導入(31団体)	2.00	994,289	-467,695	526,594
4	スマート園芸体験事業	スマート農業の現地普及を加速化させるため、生産者が先進事例について学ぶ研修会を開催(2回)するとともに、生産者が技術の効果を実感できるように「お試し導入」を支援(4技術)	0.30	267	0	267
合計			3.10	1,053,504	-467,695	585,809

事業改善シート附表

事業番号	事業名	園芸総合対策事業				部局	農政部		課・室	園芸畜産課			□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	2年度 実施内容（予定）	2年度 実施内容（実績）	2年度 実施 状況	30年度	元年度	2年度			備 考 (R元事業番号)	
							当初 (千円)	当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)		決算 (千円)
09 04 01													
1	信州農業生産力強化対策事業	農業生産力強化対策事業	補助金	長野県農業の多様な生産力の強化を図るため、新たな技術の現地への普及やマーケットニーズに対応した産地の育成に必要な機械・施設等の導入等の支援する。			50,000	59,222	55,593	55,593	0		09-04-01
2	皆で取り組む園芸振興事業	早期多収・省力栽培技術の導入及び県オリジナル品種の生産振興	補助金	りんご高密度植栽培等早期多収・省力化栽培技術の導入拡大を図るための研修会や、県オリジナル品種等の生産拡大・品質向上に向けた検討会の開催等を支援する。（研修会・検討会の開催16回、モデルほ場15か所）			2,012	1,412	1,662	1,662	0		09-04-02
2	皆で取り組む園芸振興事業	新鮮で高品質な花きを安定生産するための生産・流通技術の導入	補助金	キク類、カーネーション、トルコギキョウ等の主要切花について、需要期の安定出荷に向けた栽培技術や鮮度保持等流通技術の確立を図るため、検討会の開催等を支援する。（研修会・検討会の開催9回、モデルほ場16か所）			563	563	563	563	0		〃
2	皆で取り組む園芸振興事業	野菜の品質向上及び他品目化等実需者が求める生産の推進	補助金	生産流通コストの低減、品質の向上を図り、地域の特徴を活かした安定的な野菜産地を構築するため、地域モデルほ場の設置、研修会の開催等を支援する。（研修会・現地検討会の開催15回、モデルほ場20か所）			1,130	1,130	1,130	1,130	0		〃
3	園芸産地強化対策整備事業	園芸作物産地基幹施設等の整備	補助金	生産・流通コストの低減や高品質で付加価値の高い生産・供給体制の確立等を図るため、野菜・果樹・花きの集出荷施設等の整備を支援する。（31団体）			1,198,000	1,109,300	994,289	994,289	-467,695		09-04-03
3	園芸産地強化対策整備事業	返還金	返還金	—			0	10,183	0	0	0		〃
4	スマート園芸体験事業	スマート農業技術の導入推進	直接	スマート農業技術の現地普及を加速化させるため、生産者が先進事例について学ぶ研修会を開催(2回)するとともに、生産者が技術の効果を実感できるように「お試し導入」を支援(4技術)			0	7,022	1,759	1,759	0		09-04-04
	信州新果実市場デビュー事業	ブドウ長果11、リンゴ長果25の取組	—	—			1,950	0	0	0	0		
	信州新果実市場デビュー事業	ブドウ長果11の取組	—	—			825	0	0	0	0		
	地域労力活用野菜生産力強化事業	アスパラガスの取組	—	—			450	0	0	0	0		
	信州産機能性農産物のエビデンス活用モデル事業	信州産機能性農産物のエビデンス活用モデル事業	—	—			3,934	0	0	0	0		
合 計							1,258,864	1,188,832	1,054,996	1,054,996	-467,695		